

## HPV(子宮頸がん)ワクチン積極的勧奨再開における訂正について

厚生労働省は2013年6月にHPVワクチンの積極的勧奨を中止しましたが、2022年4月から定期接種として再開することを決定しました。従いまして、本誌19ページの記事内容を以下のように訂正いたします。

### 修正前



#### 子宮頸がんワクチンについて

日本では、子宮頸がん予防に高い効果のあるワクチンが2種類あります(現在、積極的勧奨は行われていません)。性交開始前の中高校生女子への接種が推奨されていますが、20~40歳代女性でも予防効果があります。ただし、ワクチン接種を受けた場合であっても、定期的に子宮頸がん検診を受ける必要はあります。



### 修正後



#### 子宮頸がんワクチンについて

日本では、小学6年~高校1年相当の女子が原則無料の定期接種の対象になっています(積極的勧奨を中止していた1997~2005年度生まれの女性も3年間は無料の救済措置あり)。それ以上の年齢の人は自費となります。婦人科医にご相談ください。

ただし、ワクチン接種を受けた場合であっても、定期的に子宮頸がん検診(20歳以上)を受ける必要はあります。